

普五九七五  
九月八日

1137

蔵書局

不要處分



横鎮第四六五二番之三

造紙課

蔵書課

六郎甲第二八 號

横鎮第四六五二番之三

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document. The text is written in a cursive style (sōsho) and is difficult to read precisely without a specialist. It appears to be a formal communication, possibly related to the '蔵書局' (Library) mentioned in the header.

毎  
前

以甲第一九號

甲第一八

申  
才之義  
又善者  
之出也  
其意何  
如也  
前

相傳之書  
四五六  
解之  
也  
其  
中  
1138



六耶 二〇 號ノ二

艦藏 丁部 甲分一五 號

三四五六五  
十月十八日

秘書官 (奉宿)

岩村

聯辨

内山

津馬 豊

板合

三浦

三浦

主務

佐雙

内山

廿一年十月十二日

主務

波装 澤村

内山

決裁濟

大臣

次官代理

形以 局長

主任 澤村

内山

造 坂 澤村

主任 澤村

御訓令 按

摩耶

「ポート」を「ト」に改題し、新設及び改題等、内

幕キニ 普四五六五号ノ 認件ノ 可記ノ 角

ん ぼ べ じ

但 燈 屋 移 轉 ノ 一 廉 ハ 迄 テ 何 カ 義 亦 違 べ し

明治二十五年十月十六日  
横須賀鎮守府司令長官  
大旨

洋  
宣  
リ

- 一 足コルガビット愛宕ノ如ク改造方
- 一 メンゼット設ケ方
- 一 レリービングライフルボイスチェンブ
- 一 金庫据付方
- 一 ストローグ据付方
- 一 士官室内へ主計室附属帳簿棚ヲ設ケル
- 一 筆記簿物場所
- 一 端艇ヲ換ノ
- 一 右ハ廉其府方格ニ遊揚ノ
- 但 端艇ノ形状寸法ハ飛改局ニ照会スベシ
- 一 卒被服入腰掛ヲ箱廣メ方

軍用倉

海軍省

一艦長室甲板裏面板張り方

方二廉改造及新設ニ及事

艦室移轉ノ場

古一廉改造中ニ於テ何カノ義相連ベシ

1143

乙卯年 〇

淨馬靈校令

士強

主務

秘書官

若水

聯瑞

明治廿一年五月九日

主務

大臣 次官

艦政局長

伊藤

兵器課長

主任課長

普六八三三号

横須賀鎮守府

横鎮一第五五二、那摩耶委宏島  
海高雄、四艦、大砲、壯衣載之、認許

解多摩那甲分二年、二



三十九年五月廿日

付記 本文大宛は載方小に據る長尾  
頼通所へ例年及以昔同より直尾  
可申の身割取申合と及上尾伝  
ふ及訓合格に提出と付也

普六三  
十月十日

機改局

横鎮第カ五二八號

兵器總局

六耶乙學一〇號

艦兵庫耶申才電電号

麻耶没客馬海高准の艦へ

砲種壯衣載方ノ義付上申

常府の艦摩耶へ装載可相成大砲ノ義

己之本艦へ据付可致機ニ至リ奉付テハ

造公所職工ノ使用ニ兵器部シテ据付

方可為取計ノ成元来之ニ要スル費金当

府経費中豫備無之就テハ告公所職工

ノ使用スル之ニ充テ支出スル金額無之

其間石居付工事及該費金共都テ兵

器製造所ニ於テ負担スルノ據此略同竹

御訓令日成矣據被被此般上申奉之

二五五

海軍省

明治二十九年十一月十九日

横須賀海軍工廠長官に對する

海軍大臣 佐伯 謙二郎 閣下 謹啟



道ニ於て發着馬海高維ノ義ニ本又同様ニ甘  
古體具越破ノ上ハ且之亦該居任方名  
別社等所ニ於テ肩担等事ニ係リ御  
相成凌此片副甲申之

御覽

大供覽

四〇一  
六月三日

艦政局

臣

次官代

艦政部長

休

課廻

課廻

課廻

二一九

大耶乙第二ノ三號

摩耶愛宕砲臺並に彈藥庫改

造り直し

摩耶愛宕砲臺前後之砲臺並に彈藥

庫改造方 番第三五三〇号 以テ西洲令

二 採り入費概算 西洲令九七三〇号 通

中 西洲令

明治廿一年六月十日

横濱賀鎮守府司令長官 中野田

海軍大臣 伯爵 西郷 從 道 敬

愛宕砲臺並に彈藥庫改造費

大耶乙第二ノ三號

此概算金四千七百圓

工事日数凡八週

麻子耶新澤華庫 並地安改造費

此概算金凡七百餘圓

工事日数凡四於五日間

決裁済

广耶乙

二

九

廣一第乙

三

吉村

三三〇  
五月廿一日

明治三十二年五月六日

大臣 次官

主務

艦政局長

佐竹

兵器課長

主任課長

主任課長

主任課長

主任課長

秘書官

本宿

淨寫覽 校合

發付  
五月廿一日

聯帶

主務

券

田

前

廣耶乙  
廣一第乙  
廣二第乙  
廣三第乙  
廣四第乙  
廣五第乙  
廣六第乙  
廣七第乙  
廣八第乙  
廣九第乙  
廣十第乙  
廣十一第乙  
廣十二第乙  
廣十三第乙  
廣十四第乙  
廣十五第乙  
廣十六第乙  
廣十七第乙  
廣十八第乙  
廣十九第乙  
廣二十第乙  
廣二十一第乙  
廣二十二第乙  
廣二十三第乙  
廣二十四第乙  
廣二十五第乙  
廣二十六第乙  
廣二十七第乙  
廣二十八第乙  
廣二十九第乙  
廣三十第乙  
廣三十一第乙  
廣三十二第乙  
廣三十三第乙  
廣三十四第乙  
廣三十五第乙  
廣三十六第乙  
廣三十七第乙  
廣三十八第乙  
廣三十九第乙  
廣四十第乙  
廣四十一第乙  
廣四十二第乙  
廣四十三第乙  
廣四十四第乙  
廣四十五第乙  
廣四十六第乙  
廣四十七第乙  
廣四十八第乙  
廣四十九第乙  
廣五十第乙

廣耶乙  
廣一第乙  
廣二第乙  
廣三第乙  
廣四第乙  
廣五第乙  
廣六第乙  
廣七第乙  
廣八第乙  
廣九第乙  
廣十第乙  
廣十一第乙  
廣十二第乙  
廣十三第乙  
廣十四第乙  
廣十五第乙  
廣十六第乙  
廣十七第乙  
廣十八第乙  
廣十九第乙  
廣二十第乙  
廣二十一第乙  
廣二十二第乙  
廣二十三第乙  
廣二十四第乙  
廣二十五第乙  
廣二十六第乙  
廣二十七第乙  
廣二十八第乙  
廣二十九第乙  
廣三十第乙  
廣三十一第乙  
廣三十二第乙  
廣三十三第乙  
廣三十四第乙  
廣三十五第乙  
廣三十六第乙  
廣三十七第乙  
廣三十八第乙  
廣三十九第乙  
廣四十第乙  
廣四十一第乙  
廣四十二第乙  
廣四十三第乙  
廣四十四第乙  
廣四十五第乙  
廣四十六第乙  
廣四十七第乙  
廣四十八第乙  
廣四十九第乙  
廣五十第乙

1150

不

フヘシ

○セシムヘクニ付テ不費ノ豫算ヲ取調届出

但し該用面ニ船政司ト送付ス

至今年五月廿六日迄

横濱支店長



供覽  
大臣

次官

参謀部

艦政部長

伊藤

月日進達

内山

加藤

鎮守吉

五月廿



摩第一九〇號

参謀長

十二月十一日進達

南竿田

参謀

吉田

テ郎工事報告

「ボートダビツト」

右改造ニ関スル「ダビツト」ハ本内四本ハ其ノ各成ク

生ケタレモ眞「カッター」ニカ属スルモノ「スリニグ」ノ加減悪クシ

入廻スル時「ブーム」ニ「支」ハ生ズルハ合テ其取直シ

掛カリテ而シテ他ノ四本ハ未ダツ着キセス

艦長室内へ金庫並ニ「燗」付付方

右工事ハ「餘程」取リ既ニ「金庫」部ハ九

分「具」取付ヲ終ヘリ「燗」ノ据付ルモノ着

キスルニ至リ

一士官室内ニ「長」燗設置方及「燗」据



附方

右工部局の簿棚に合して工部局の簿棚に合して目録

下其上部にシテ製造中にしてハ少シク目録合

セコビット成ルノ時於テ完全ニスルナリ又コストアップ

ハ其据付且至ノ如キモノハ陸上ニ於テ成備セ

一レリーベニングテイクルボイスエーブ

右既ニ其取附ヲ終ルト重クコビット製造

ニ取掛ルヲスニ其通路ニ割係アル之レ又コ

ト成ル日迄ユツテ告ぐるナリ

一コビット

右ニ三日前ヨリ着手し目下模型ヲ以テ其備製造

申す尤モ之ニ附属セル金物ノ如キ既ニ造リアヒリ

一フオトルステール

右前位置ヲ變シテ前部側ノ内方ニ  
取付ケ目下之ニ刀屬スルコアイマシニ取  
附中ナリ

右ノ工事ノ実況前各ノ通ニ付此般及  
報告也

明治廿一年十一月一日土曜日

工事視察員有森元吉有森

摩耶船長吉田重親殿

明治廿一年十一月一日土曜日当艦工事

實況有共視察實報告之通相違

無之付此段及報告也

明治三十年一月一日横須賀

摩耶船長吉田重親



福徳船中司長長吉田重親

艦隊局長 (伊藤)

三十二年一月七日 (連)

参謀長

参謀

第一

一月七日

月四日

日

第 二 二 二 號

月四日

軍艦六郎工事報告

参謀部

供覧 大臣 閣覽 濟

次官

當艦工事之義、大砲討撃隊舉行、非中、  
 急エセシガ為ノ去ル廿四日出港、必要、部多、而、後  
 エラ、見ル、至、然、此、尚、未、了、故、エ、河、津、幸、セ、シ、テ、中  
 止、セ、シ、テ、亦、甚、ナ、シ、ト、セ、ズ、殊、ニ、本、週、日、子、ハ、大、砲、討、撃、隊  
 為、ノ、多、ク、有、實、シ、ク、ラ、以、テ、工、事、進、歩、之、ラ、前、週  
 比、少、シ、其、タ、著、シ、キ、ラ、見、ズ、只、現、状、ヲ、報、告、シ、テ、本、年  
 一、月、四、日、結、了、ス

一、ソ、イ、ニ、ビ、ツ、ト、及、士、官、室、帳、簿、寸、柄

右、者、給、ニ、出、来、ノ、次、女、ニ、テ、申、止、セ、リ

一、エ、シ、コ、ル、カ、ビ、ラ、ト、及、ソ、イ、ニ、ボ、ル、ト

右、者、今、日、送、エ、ラ、シ、テ、ゲ、タ、リ、尤、モ、出、港、以、前、ニ、ホ、ッ、ス、ル

アイニカイトプラシゴサマハク成ニ至ラカリシモ湯澤ノ上  
悉皆取付ヲ竣ルリ

二五ヤノホニツ

右者他ニ急工事ノアリシヲ以テ其取付ヲ中止セリ

一ハシモツクアリ

右者十中六丸ノ竣工セラレテ既ニ新製衣ノゼツキ

及フクヲ使申スルヲ得ルニ至リ

一既ニ高上クシテカガ并合部庫庫

右ケレトカガハ採肉砲車ヲ交換セシメテ是ニ属スル

物ヲ制衣作スルノ必要ヲ未ダシテ未ダ竣工ニ至ラズハ部

庫庫ハ十五冊克砲車九ヲ入ハシニ因セカシ

以テ内部模様既申シテ中止セリ

一連射砲生及取准十丸

右者陸上ニ於テ模型ニ申リ制表作中工事申ラ中  
止セリ

一士官副及信子ノ室硝子窓及前部ト甲板ト板

右者モルサハハ七砲射撃ノ降破揚入個所ニシテ

右修理ニ目下申中ニシテ久許ノ直ニ修

理セザレリカスルモナリ

右者記ノ事申シト更汽船書ニ有ルニ者ニシテ

此方ノ朝生也也

明治三十二年十二月二十五日 土曜

工事視察ニ付有テ元七

十部航長ト田重徳

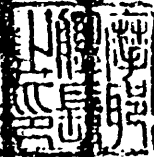
少尉能工リノ事以視察ニ付有テ元七

清守ト之也也

昭和二十二年十一月廿九日

大印記長吉由重親

松尾勘次郎



艦政局長

参謀長

兵器課長

造船課長

機務課長

燃料課長

加藤

一長

四

四七

一月廿九日

軍艦工部工事報告

参謀

本艦工事も次第に落成するが目下其の重大なる  
揚子江に連射砲座及照準基臺ト右部彈庫  
庫に於て其の他の皆々々々工事を了る而已

一連射砲座及照準基臺

右の艦側より修理し可之に爲る鉄板を切断し

目下其の工事中にて鉄柱如キも取付中ナリ

一右部彈庫

右部彈庫も目下其の工事中にて庫内の棚を取

次官より付ケ彈庫を改製して大に交換するに至り

一エヤホニア

閱覽濟

供覽



庫内通入ル管、既ニ落成シタル今其ノ取付掛

ナリ

一 船橋上カレーナシク

右事ノ竣工ニ至ラサルモ大田ヲ成エタリ

一 士官室二則

右昨今修理中ニシテ其ノ方面ニ新規製表ト

從事セリ

一 艦燈

右連射砲ヲ設ケルニ付モ位置ヲ変更シテ前部

取付ケ大畧出来セリ

一 后部カレーナシク

右カレーナシクカノ艇止鏈、通過スル處ニ板製表

ニ穴ヲ穿ツ許リトナシテ故ニ竣工亦遠キニ非

ラズ

本航工事之現状を書之函に付て其報告

也

昭和廿二年一月十九日 土曜日の

十郎工事相を以て有本林元吉

十郎工事相を以て有本林元吉

本航工事之現状を書之函に付て其報告

也

昭和廿二年一月十九日

十郎工事相を以て有本林元吉

本航工事之現状を書之函に付て其報告

本航工事之現状を書之函に付て其報告



1163

艦政局長

參謀長

造船課長  
第一科長  
第二科長  
第三科長  
第四科長  
第五科長  
第六科長  
第七科長  
第八科長  
第九科長  
第十科長

摩第  
四號

參謀

一月廿九日  
佳  
皇中幸田

六郎工事中報告

供覽

閱覽濟

本艦工事も日子が経るに従って竣工の域に達し目下二  
三、工事中而已ナルヲ以テ過般上申、未志ル廿三日ヲ以テ入渠  
ニ船底ヲ塗ルルニシテ之ヲ以テスルヲ目下トシ本日其第一  
回ヲ塗ルル九ト一周間ヲ経テ出渠スルノ目下ニシテ般ノ外般  
部も其際迄塗ルルヲ行フ者ナリ概スルニ本般工事も進歩  
ハ之ヲ字標輕糸留ノ時ト比スル諸事便利ノ立康スルヲ以  
テ亦亦カ速ナリト申末々以テ顯著者、効ヲ見ルニ足ラズ  
今工事も概況ヲ左ニ報告ス

一、連射砲坐及照準台

次官  
右工事中、首眼丸モノニシテ從テ職工之ニ從事

是者最大部よりなるトモモ  
切斷 是如キ或ハ之ニ穴ヲ穿ルル如キ錯雜、個所ナル  
ヲ以テ著者トモ進歩ヲ見ガルトモ十中、五六ハ已ニ路  
成リ告ケタリ

一 后部 障庫

速財的坐ニ昭 唯十台ニ次デ重要、工事一ノ后部  
障庫、改告トラス 該 工事一ノ已ニ十中ハ九カニ路

本ノ期トモ進セリ

一 エヤホシノ 解標上カレトケガ后部 改告トラス

右 工事ハ本用ニ於テ竣エセリ

一 土官室 厠ニ解標

右 工事ハ目下 差年 中ニシテ未クニ了スルニ至ラ  
ズ

本行工事一之五況亦去之通リも其馬車報

告其也

明治廿二年一月廿六日

工事視察員有志以之先

本行部長吉田三郎親政代理

主任吉田三郎隊長馬車中下徳友

本行工事一之五況亦去之通リも其馬車報

告其也

明治廿二年一月廿六日

本行部長吉田三郎親政代理

主任吉田三郎隊長馬車中下徳友

本行工事一之五況亦去之通リも其馬車報

馬車

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1167

1167